

●2年ぶりにホテルの夕べと里山音楽会 6月18日 開催

昨年は、コロナ感染予防のために中止せざるを得ない状態でしたが、今年は少し状況が変化しまして開催できるようになりましたので前号のチラシ記載のとおり開催いたします。いつものように大勢の参加を募集するのではなく限定しての募集といたします。お見逃しなく参加申し込みをお願いします。今回の音楽会は、中聖牛の取組みでお世話になったウクレレ奏者をお招きして、楽しい取組にしたいと予定しています。又、夕ご飯はそれぞれご持参いただき、スタッフの負担を軽くすることになりました。各自でご用意をお願いします。また飲み水も各自必要な分を持ち込んでいただくことになりますので、よろしくお願いします。6月10日から参加申込が始まり、先着順10組と制限させていただきます。その折には住所・氏名・年齢・保護者名・携帯番号・メールアドレスをご記入ください。かなり人気が高い取組みなので対応をいち早くお願いします。

●画期的なヤマト(カスミ)サンショウウオの生育調査

近頃新種の発見が報道されていますが、里山の会では2007年に卵嚢を発見し、2017年に成体を発見してきました。その生育池に無人カメラを設置して夜間の監視の結果イノシシやノウサギ、タヌキなどが頻繁に撮影されてきました。こうした観察結果から自然環境保全京都府ネットワークの皆さんが生育池周辺の環境調査を実施しようと計画していただきました。ネットワークの専門家が集結して「絶滅の恐れのある生き物」の環境を調査行ってくださいます。画期的なことです。里山の会としては維持や見守りは出来ていますがこうしたことを実施できていませんので、大いに期待をしています。京田辺市の環境課もすごい興味を持っておられて当日は参加いただきます。ヤマト(カスミ)サンショウウオは3億6千年前の恐竜時代以前の生き物で両生類と分類される生き物です。私たちの調査観察の結果この場所で生きている雌は数十匹だと思われ、命がクモの糸のように引き継がれてきている大変貴重な生物です。大切にこの環境を維持したいものです。

●事前調査に竹門先生大奮闘

先日自然環境保全京都府ネットワークの会長をされている京都大学の竹門先生が、事前調査をしていただきました。これ迄は生育池が2つだと思っていましたが、さらに上の方に2つの湿地とため池があり、その五つの水質などを徹底的に調査されました。上部の池にはザリガニが沢山生育していることが判明しました。どうして下の池にはザリガニがいないのでしょうか。少し疑問がわきました。

●ヤマトサンショウウオ生育池の修復に奮闘中

先週号で生育たまりの改修工事が行われた後も、卵嚢が産み付けられていて一安心と思いましたが、その後三回目の干し上がりが発生し、その対策に太田・森島・金田さんがご奮闘をいただきました。工事箇所から2ヶ月の間に急傾斜部分が1mほど後退移動したことになります。このまま落ち着いてくれればいいのですが、水路が傾斜地なので心配です。

●魚とり会場の通路上作業実施 完全に通路が確保されました

城陽市教育委員会から里山の会に例年通り「魚とり」の取組みに協力いただけないだろうか、と相談がありました。事務局会議で検討した結果、協力することになって予定地を下見すると、雑草が高く生い茂り、とても進入できる状況ではありませんでした。そのため有田さんが時間をかけて進入路の除草作業を行っていただき、木津川本川までの200m程度の通路が完成しました。ところが手前の青谷川には一滴の水も流れていないではありませんか。このままの状態では水が流れている本流のところまで行かなければなりません。まさにここでは魚とりには適していませんし、危険度は非常に高いものです。7日の降雨に期待をしていたのですが、期待していたほどの大きな変化はなく、ここでの魚とりは絶望です。

●田中組さんと除草作業場所調整行う

季節の春が進み野原などの草達は大きく成長する季節になりました。木津川の堤防の草を除草する頃になりました。里山の会は春に開花する貴重植物について、種ができてからにしてほしい、と強く要望してきまして、レンリソウやフナバラソウを守ってきました。木津川の堤防の除草業者さんたちは一斉に刈り取りをされるので、貴重な植物を抑えて除草作業をするよう調整が必要なので、打合せを行いました。

●事務所の解体作業進む

里山の会の旧事務所の解体が順調に行われました。これから更地になってゆくでしょう。ご期待ください。

●同志社大学生事務所訪問

6月7日同志社大学の磯崎さんと事務局の竹村さんが、学生に体験したことを全学生に伝えてボランティア活動として紹介し、参加を呼びかけてゆきたいので、予定している里山の会についてお尋ねしたいと、来所されました。

●竹鉛筆作成の打ち合わせ進む

6月7日に第2回目の本格的な検討会を予定していました。しかしこの季節は農繁期で田植えの真っ最中なので、竹島さんは耕運機や田植え機の操縦で昼も夜もないほど働き続けなければならない時です。それで体力の極限までのことですので、欠席の連絡が来ました。近頃体力の衰えに伴って隣近所からの応援依頼が押し寄せてつらいときです。ご出席いただいた木下さんは、手持ちのボール盤を持参いただきました。これだと穴あけに使い物になるだろうと持ち込んでいただきました。話し合った結果穴あけは進められるけれど、一番肝心の竹串=素材を手に入れないと話が始まらないので、木下さんが入手することになりました。

●城陽市教委の魚とり準備ライフジャケット借用

本川への進入通路の確保なしには事が始まりませんが、有田さんが通路の除草を実施いただき、最大の課題が解消されました。次は身の安全を守るためのライフジャケットです。先の北海道の知床で観光船の沈没事故でライフジャケットの着用が話題になりました。主催者としては必須の装備です。開催には必須の備品ですが、容易に準備できるものではなく、借用時期が集中しますから容易ではありません。方々に連絡を取り、やっと確保できました。ひと安心です。次に魚とりができる川に水が流れているかどうかです。取組を予定している青谷川を下調べに行きましたが、雨量が少なく、魚どころか水が一滴も流れておりません。このまま中止せざる得ない状況です。木津川で安心して行えるのは15km点になるのではないかと思います。すると今度は案内している集合点からの移動をどうするのが課題です。難問を解決すれば次の課題が次々と出てくるので、準備や主催者の頭は一杯です。ご協力をお願いします。

●藤田カヌーの前社長「進」さまが逝去される

私たちは「木津川は、遊びカヌーの発祥の地」であることは、藤田進さまのお話や苦労話を聞くまでは知りませんでした。又水面から眺める景色の面白さ、そしてその経験から川を大切にしなければならないことを沢山教えていただきました。その藤田さんが亡くなられた知らせに大変驚きました。まだまだ御教えをいただきましたかったのですが、残念でなりません。木津川を大事にすることの教えをしっかりと受け継いで悲しみを乗り越えたいと思います。心よりご冥福をお祈りします。

●玉ねぎの収穫沢山ありました

残り186個（三つ100円でお分けいたします。）6月8日現在残りわずかです。今年の近くのタマネギの農家では不作で高値になっています。三つ100円は非常に安いということです。お買い得かと思いますよ。必要なお方は里山の会までご連絡ください。売り切れ御免でお願いします。